

暮らしの、新たな原動力へ。



*Next
Driven.*

2026年3月期 決算概要

BANDO

2026.05.14

バンドー化学株式会社

Since 1906
120th
ANNIVERSARY

目次

I. 2026年3月期 決算概要

II. 2027年3月期 業績予想

III. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

IV. 参考資料

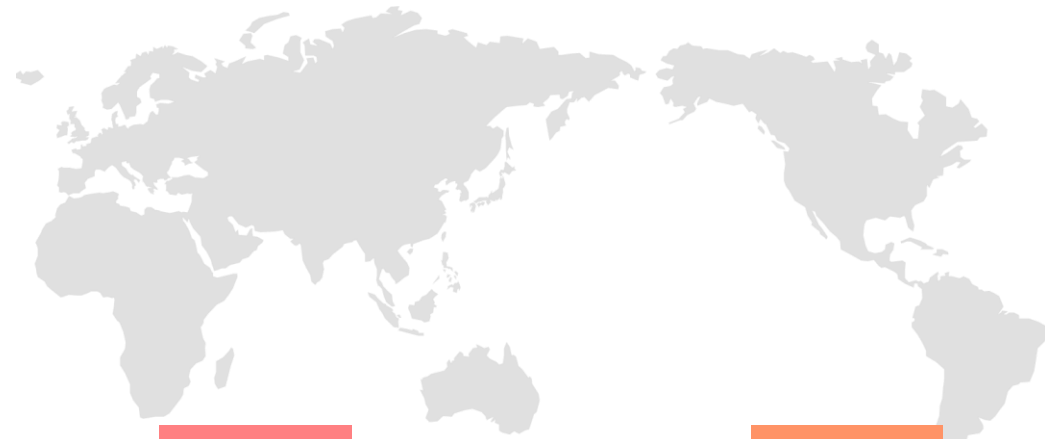
I. 2026年3月期 決算概要

2026年3月期 決算ハイライト

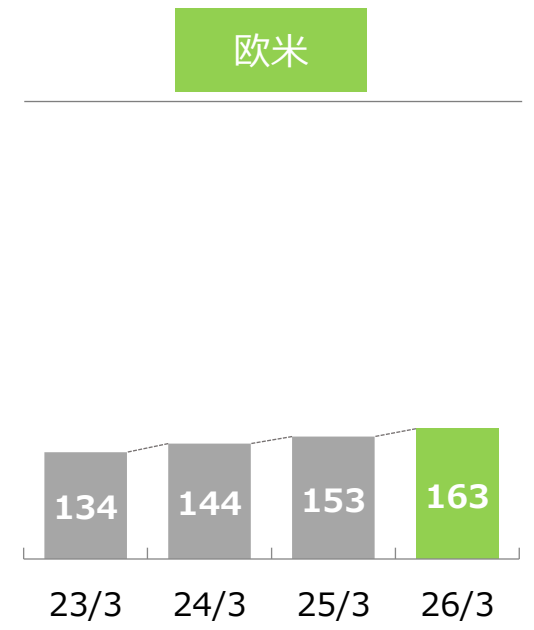
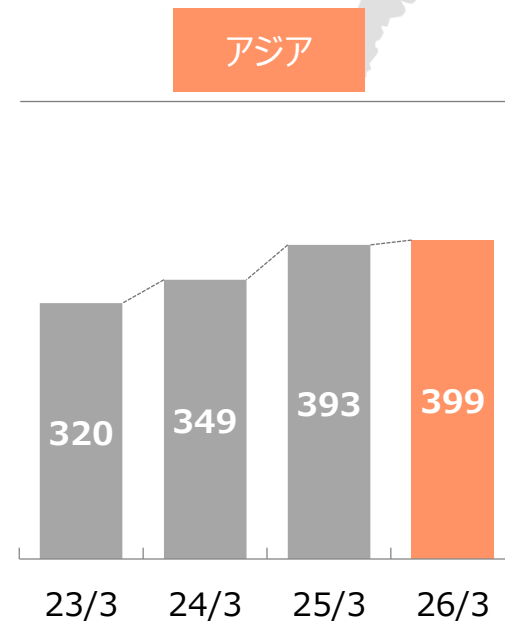
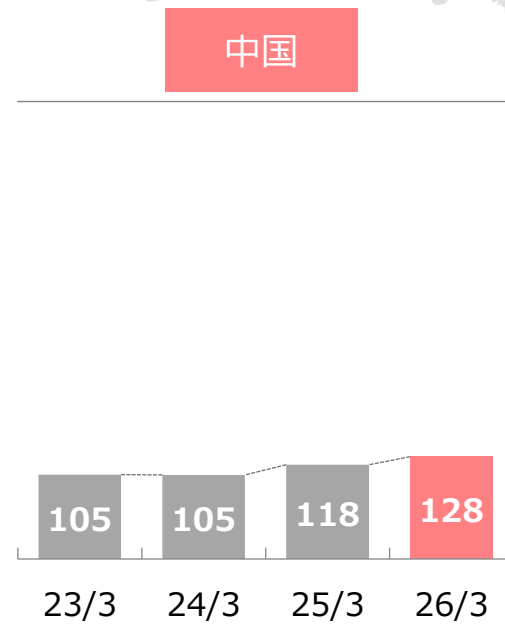
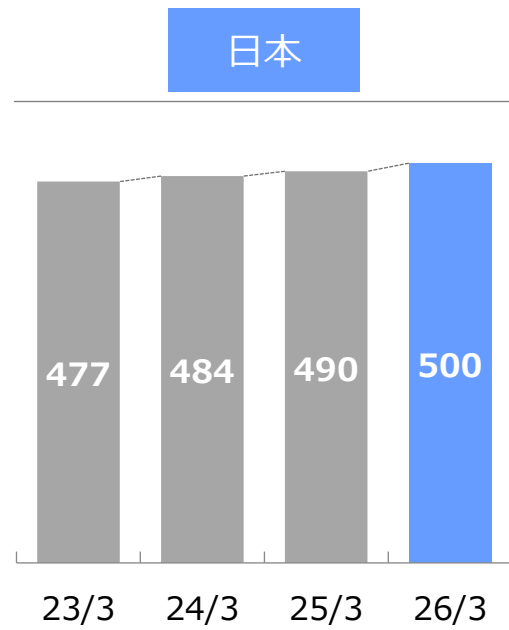
(単位：百万円、%)

	2025/3	2026/3			
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上収益	115,593	119,257	+3,664	117,000	101.9%
コア営業利益	7,743	9,551	+1,807	8,200	116.5%
営業利益	3,480	12,073	+8,592	10,500	115.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,496	10,568	+9,071	7,400	142.8%
R O E	1.8%	12.1%	+10.3ppt	-	-
U S D	152.57	151.06	-	145.00	-
為替レート T H B	4.40	4.68	-	4.40	-
人 民 元	21.13	21.35	-	20.00	-

- 売上収益、コア営業利益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は過去最高を記録
- 前年度においては減損損失等の計上があったことに加えて、当年度においては当社加古川工場における震災事故に係る受取保険金（1,524百万円）の計上により、営業利益は前期比で大幅に増加
- 繰延税金費用（△1,228百万円）の計上（△は利益）により、親会社の所有者に帰属する当期利益は増加



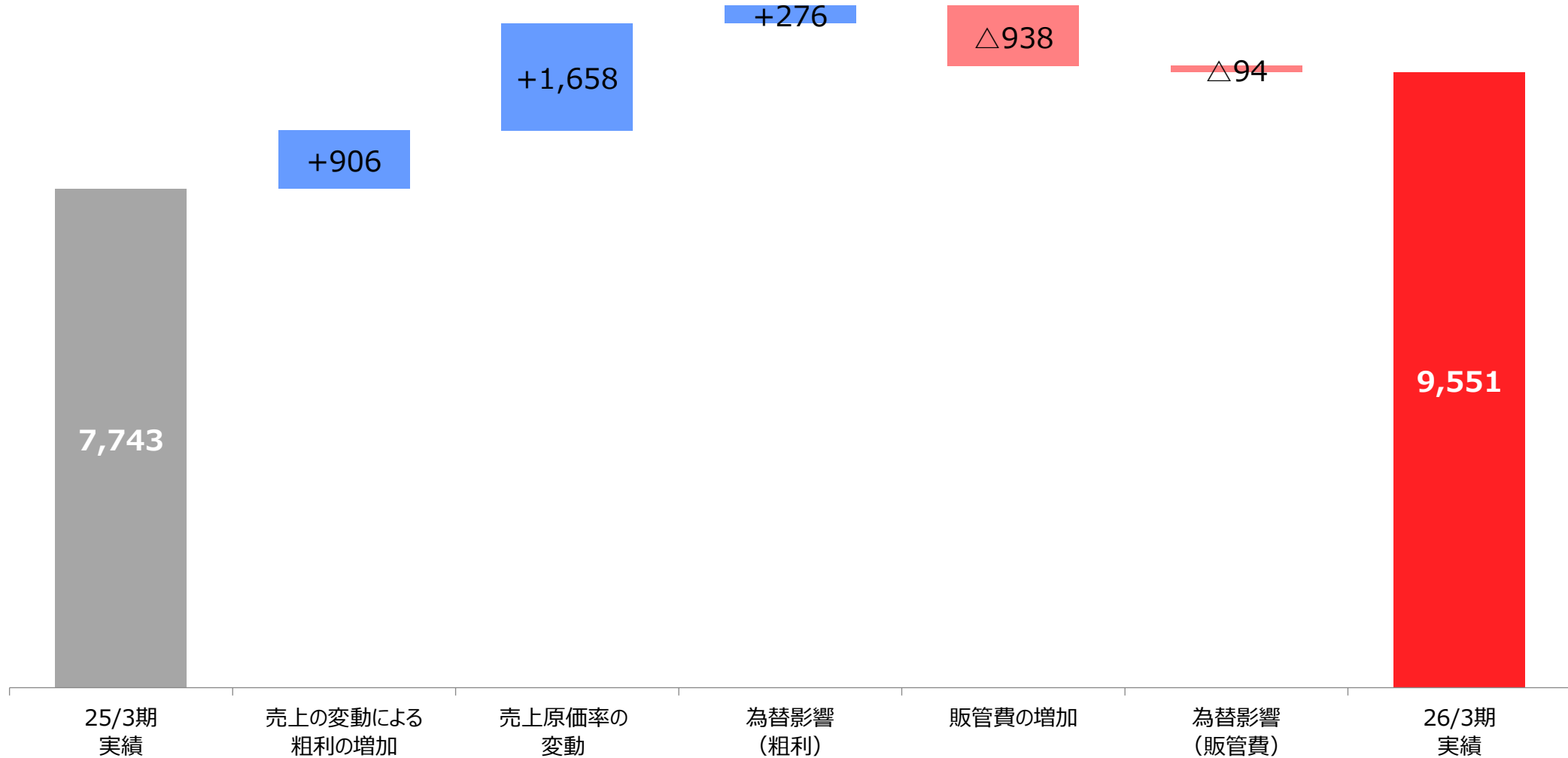
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

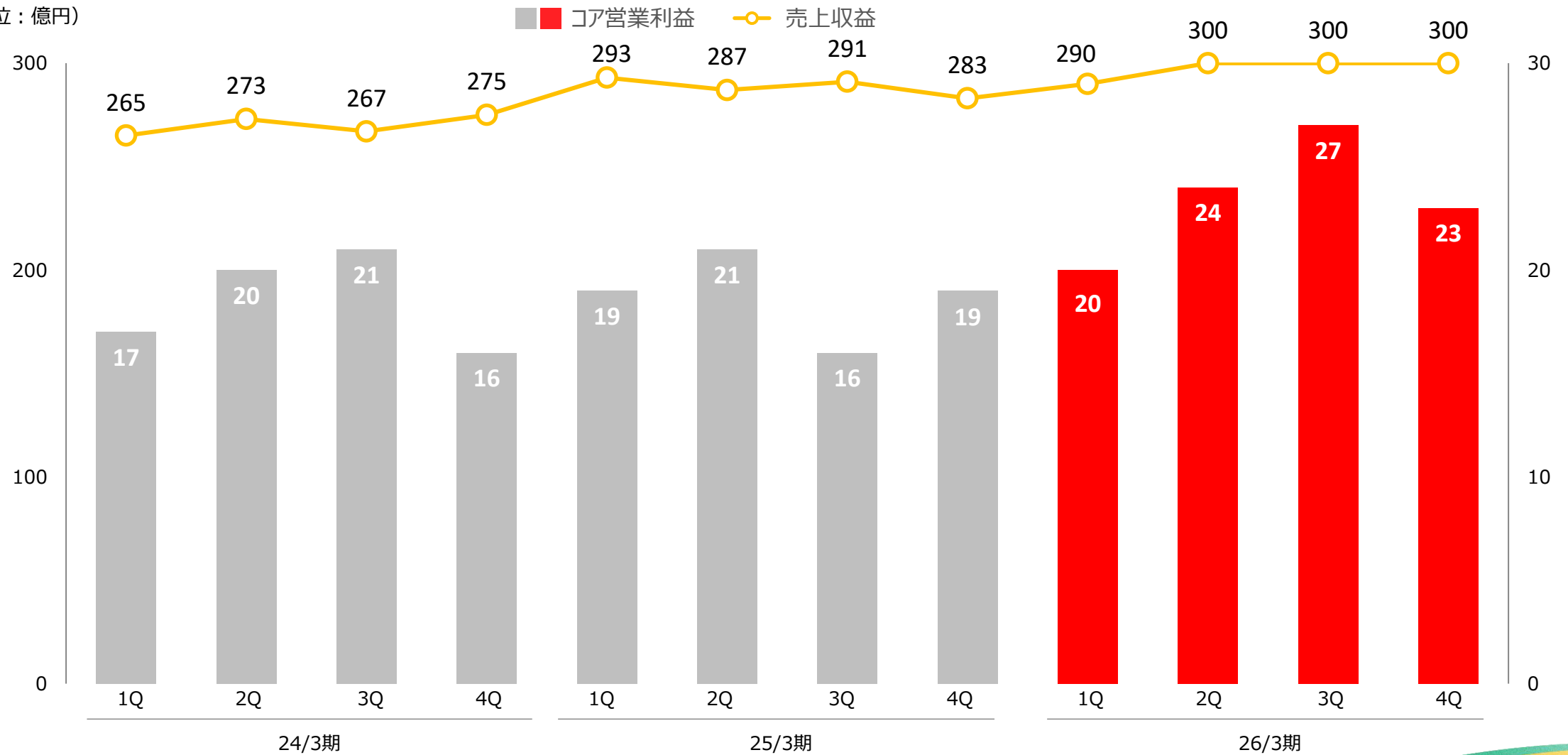
2026年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移 (売上収益/コア営業利益)

(単位：億円)



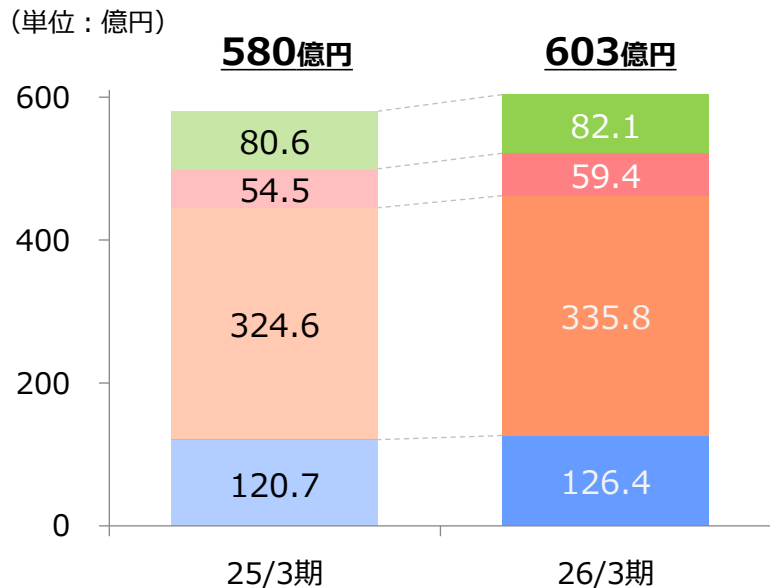
2026年3月期 セグメントの状況

(単位：百万円)

	2025/3	2026/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	115,593	119,257	+3,664	+3.2%
自動車部品事業	58,056	60,397	+2,340	+4.0%
産業資材事業	38,100	38,807	+707	+1.9%
高機能エラストマー製品事業	14,216	14,423	+207	+1.5%
その他	6,095	6,954	+858	+14.1%
セグメント間消去	△875	△1,324	△449	-
コア営業利益	7,743	9,551	+1,807	+23.3%
自動車部品事業	4,897	5,682	+785	+16.0%
産業資材事業	2,541	3,264	+723	+28.4%
高機能エラストマー製品事業	△15	433	+448	-
その他	296	242	△53	△18.1%
セグメント間消去等	23	△72	△95	-

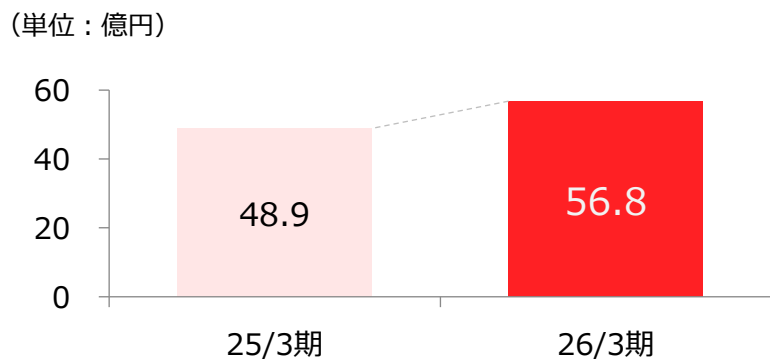
自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+1.9%	■ 欧州では補修市場向け製品の販売が増加。
中国	+9.1%	■ スクーター用変速ベルトなどの販売が増加。
アジア	+3.4%	■ 補修市場向けスクーター用変速ベルトなどの販売が増加。
日本	+4.8%	■ 当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）と補機駆動用伝動システム製品（オートテンションなど）の販売が増加。

コア営業利益

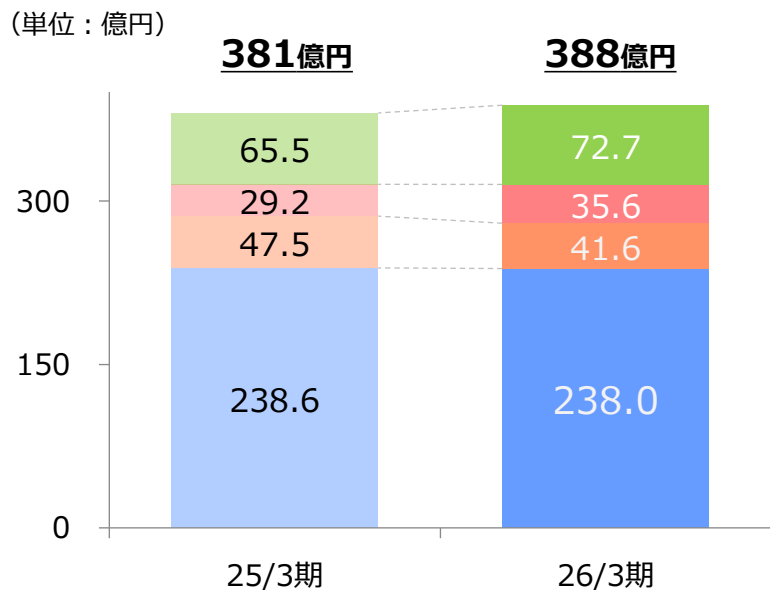


コア営業利益	+16.0%	■ 販売の増加により、利益が増加。
--------	--------	-------------------

(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

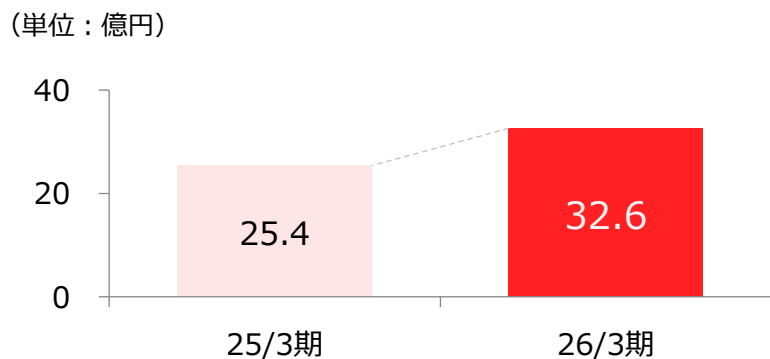
産業資材事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+11.0%	■ 産業機械用伝動ベルトの販売が増加。
中国	+21.9%	■ 農業機械用伝動ベルトの販売が増加。
アジア	△12.3%	■ 農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
日本	△0.3%	■ 産業機械用伝動ベルトの販売が増加。 ■ 樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売は増加するも、コンベヤベルトの販売が減少。

コア営業利益

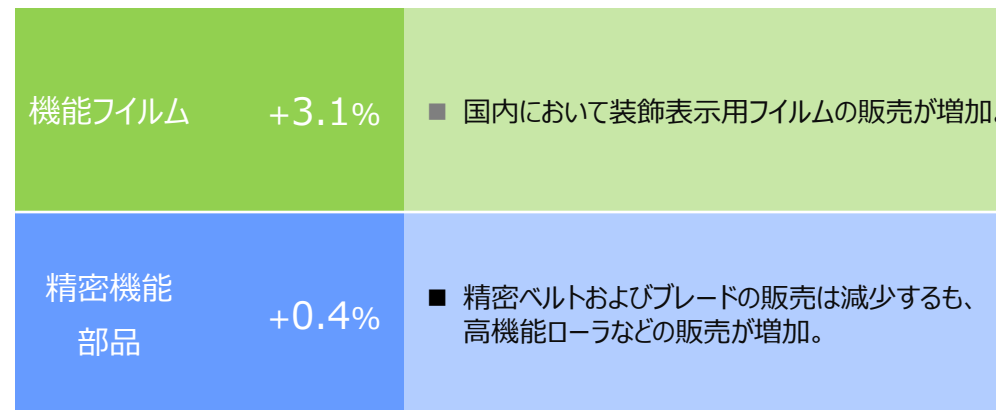
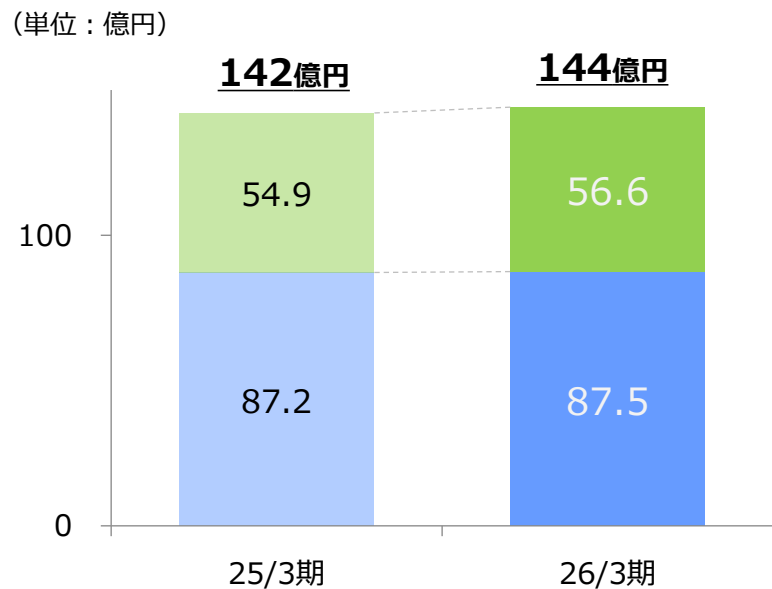


コア営業利益	+28.4%	■ 販売の増加に加えて、製品構成の変化などにより、利益が増加。
--------	--------	---------------------------------

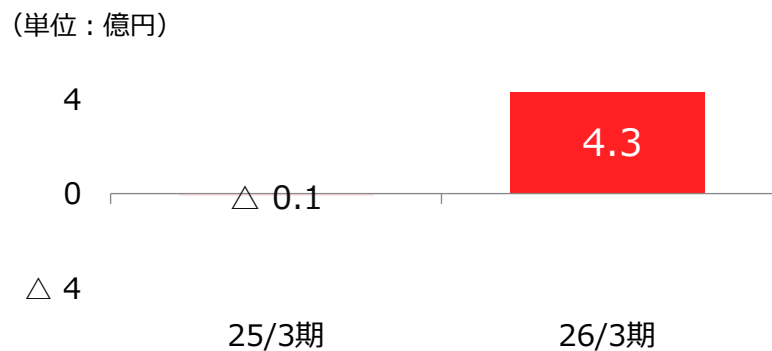
(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

高機能エラストマー製品事業 概要

製品別売上収益



コア営業利益



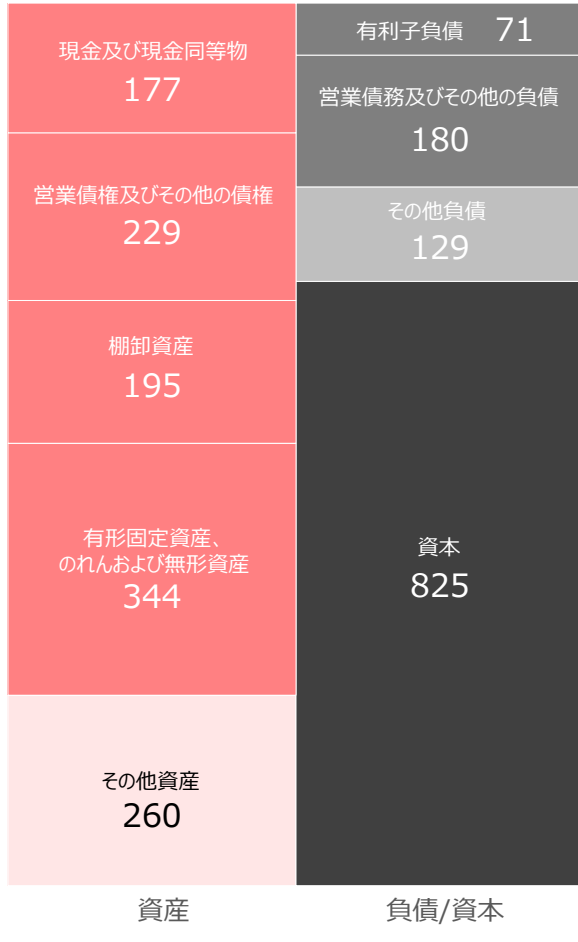
(注)製品別売上収益はセグメント間取引消去後。

連結財政状態計算書

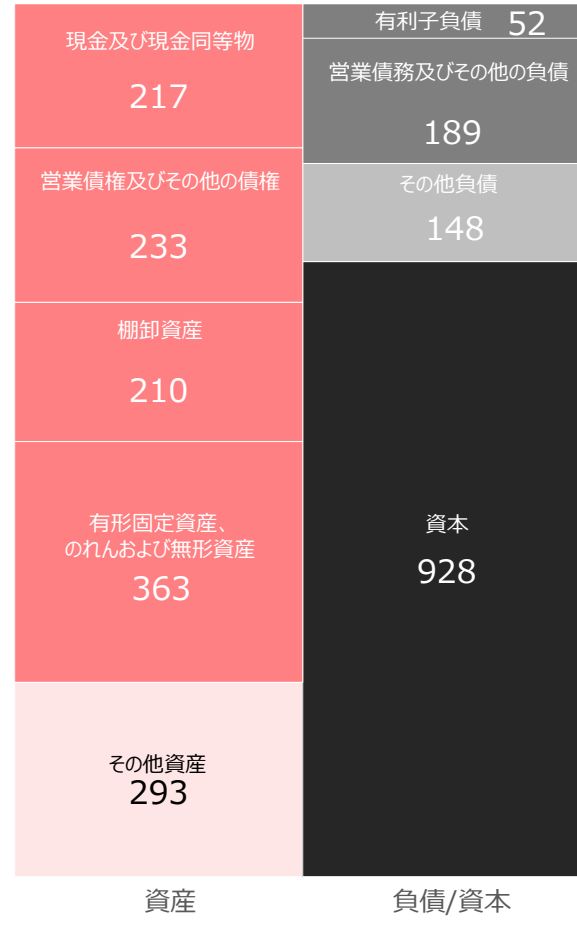
(単位：億円)

1,206億円

1,318億円



25/3期



26/3期



Ⅱ. 2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

	2026/3	2027/3		
	実績	予想	前期比	
売上収益	119,257	120,000	+742	+0.6%
コア営業利益	9,551	9,600	+48	+0.5%
営業利益	12,073	11,000	△1,073	△8.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	10,568	8,000	△2,568	△24.3%
設備投資	7,089	8,000	+910	+12.8%
減価償却費	5,450	5,600	+149	+2.7%
為替レート				
U S D	151.06	150.00	-	-
T H B	4.68	4.65	-	-
人 民 元	21.35	21.50	-	-

※当連結業績予想には、中東情勢の影響を織り込んでおりません。

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

中長計(Creating New Value for the Future)の全体像

FY2023 ← CV-1 → FY2026 FY2027 ← CV-2 → FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』

ビジョン

共創 新規事業
コア事業

中長期戦略

指針1

価値創造

「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速

価値創造

最適な事業ポートフォリオへ

指針2

スマートものづくり創造

バンドー夢工場への布石

夢工場モデルラインの実現

安全・安心で地球環境にやさしいものづくり

バンドー夢工場のグローバル展開

圧倒的競争優位の実現

指針3

未来に向けた組織能力の進化

進化を支える土壌づくり

未来に向けた組織能力の進化

進化が連続的に起こっている

中長期目標

売上収益

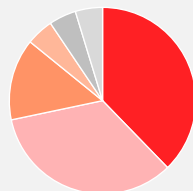
1,200億円

コア営業利益

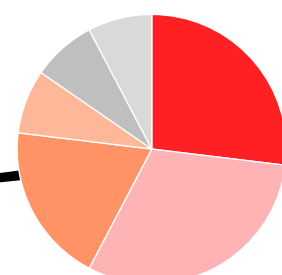
120億円

R O E

12%



持続的成長へ



非財務指標

CO₂排出量 38%削減 (2013年度比)

カーボンニュートラルを実現する

収益力の強化に向けた取り組み①

▶▶ 自動車部品事業

グローバルアフターマーケットへの拡販

- インド等の重点地域における販売拡大の推進

パーソナルモビリティ市場への事業拡大

- EV向け製品の販売拡充
- ATV、UTV向けに高負荷対応のダブルコグベルトの販売拡大



▶▶ 産業資材事業

大型農機市場への拡販

- 新規市場における補修品の販売拡大

シンクロベルト成長市場への深化

- ロボットや半導体等の重点市場での拡販



収益力の強化に向けた取り組み②

▶▶ 高機能エラストマー製品事業

環境負荷・意匠性に優れる
加飾フィルムの拡販

- 意匠性を武器に加飾フィルムの更なる販売拡大

シンクロベルト成長市場への深化

- ロボットや半導体等の重点市場での拡販



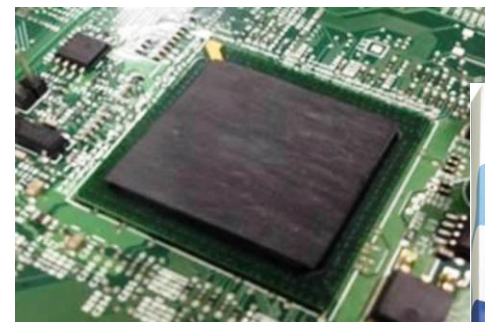
▶▶ 新規事業

電子資材事業の事業化

- 精密研磨材「TOPX®」の拡販
- 半導体市場等に向けた熱マネジメント製品の開発を推進

医療機器・ヘルスケア機器市場への
連続的な上市

- 吸収性骨再生用材料「e=Bone®」の更なる販売拡大



資本効率の向上

基本方針

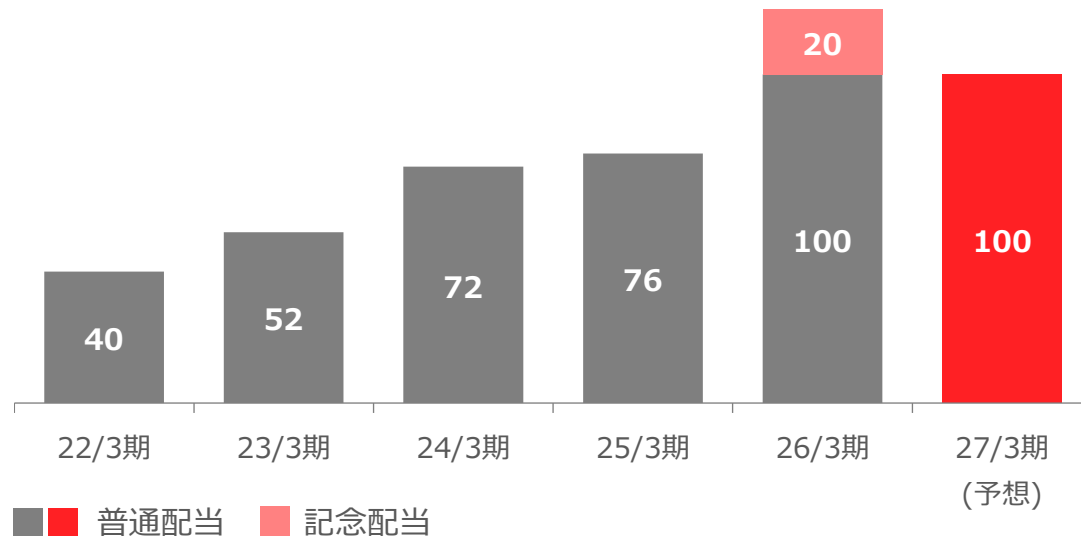
収益および財務状況に配慮しつつ、当面の間、1株当たり年間配当金額26円を下限として、**連結配当性向50%を目途に安定した利益配当**を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。
また、中長期的な投資計画、市場環境および資本の状況などを総合的に勘案し、**機動的な自己株式の取得**を検討する

今期の取り組み

2026年3月期は1株当たり年間配当120円（創業120周年記念配当20円を含む）を実施予定
2027年3月期の1株当たり年間配当は、前期普通配当と同額の100円を見込む
市場買い付けによる自己株式の取得を決定
（上限株数130万株、上限金額20億円、取得期間 2026/5/15-2027/4/30）

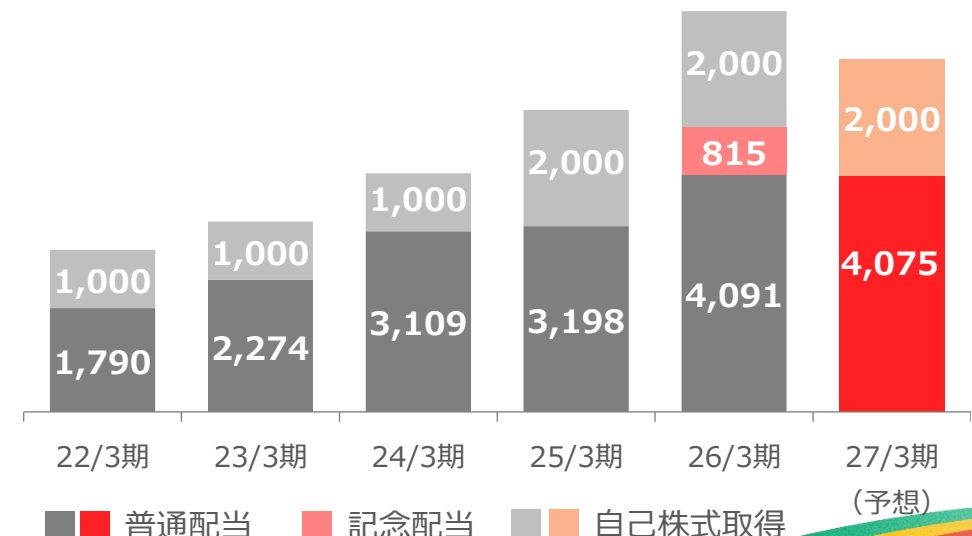
1株当たり年間配当の推移

(単位：円)



株主総還元額の推移

(単位：百万円)



(注) 役員報酬BIP信託への支払配当控除後

気候変動リスクに向き合い、 社会の発展に寄与する



- 国内外において太陽光発電システムや省エネ設備等を順次導入
- 単体でのCO₂削減目標に加えて、グループ全体でのCO₂削減目標を新たに策定予定



Bando Manufacturing (Vietnam) Co., Ltd.

エンゲージメントの向上



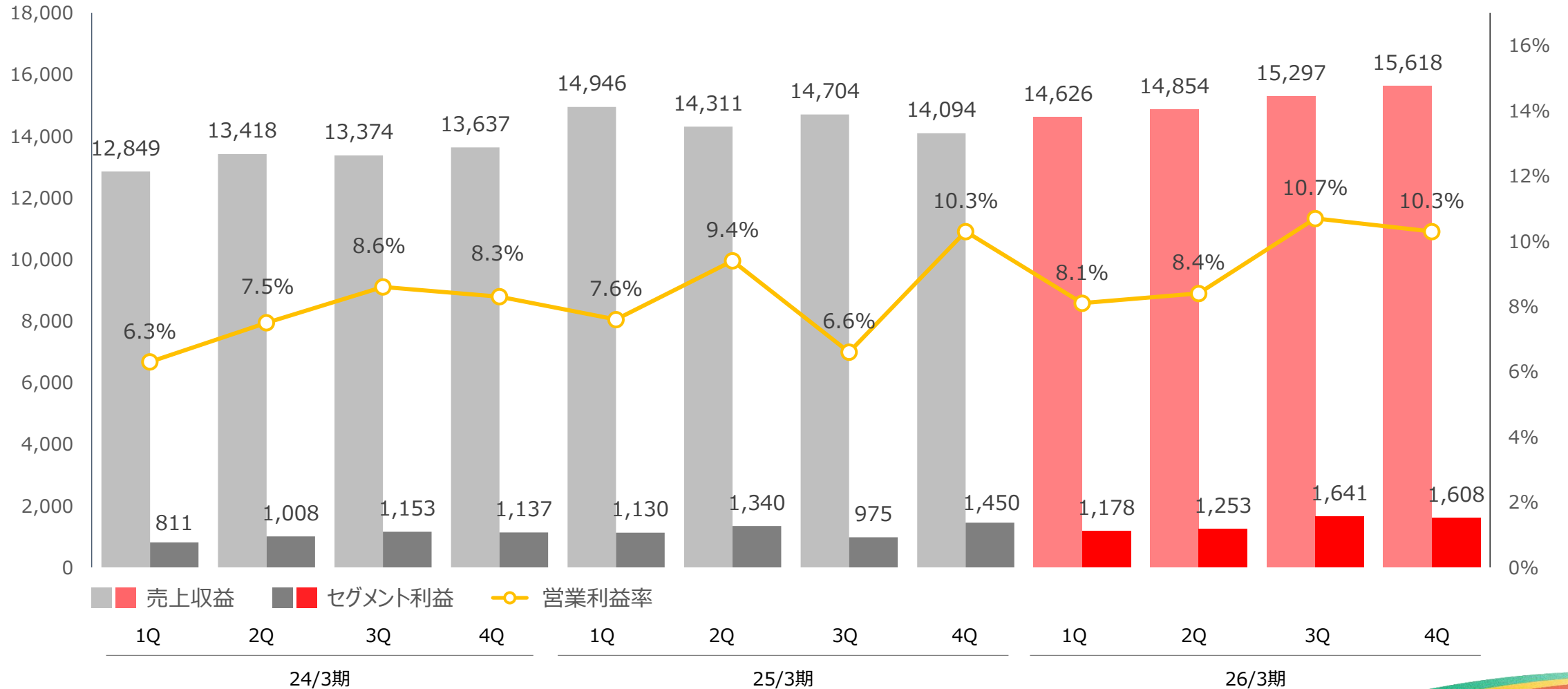
- 「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定
- ESG総合型指数「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定



IV. 参考資料

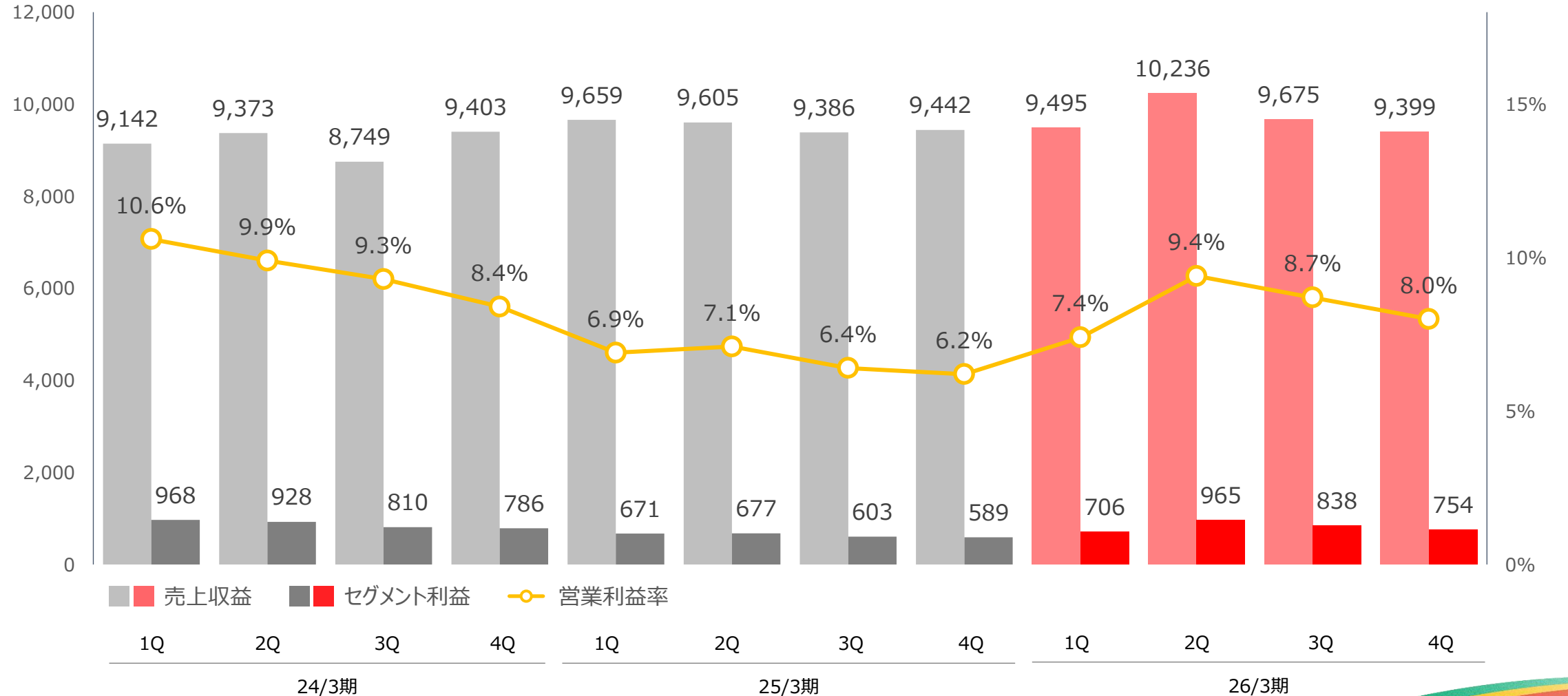
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)



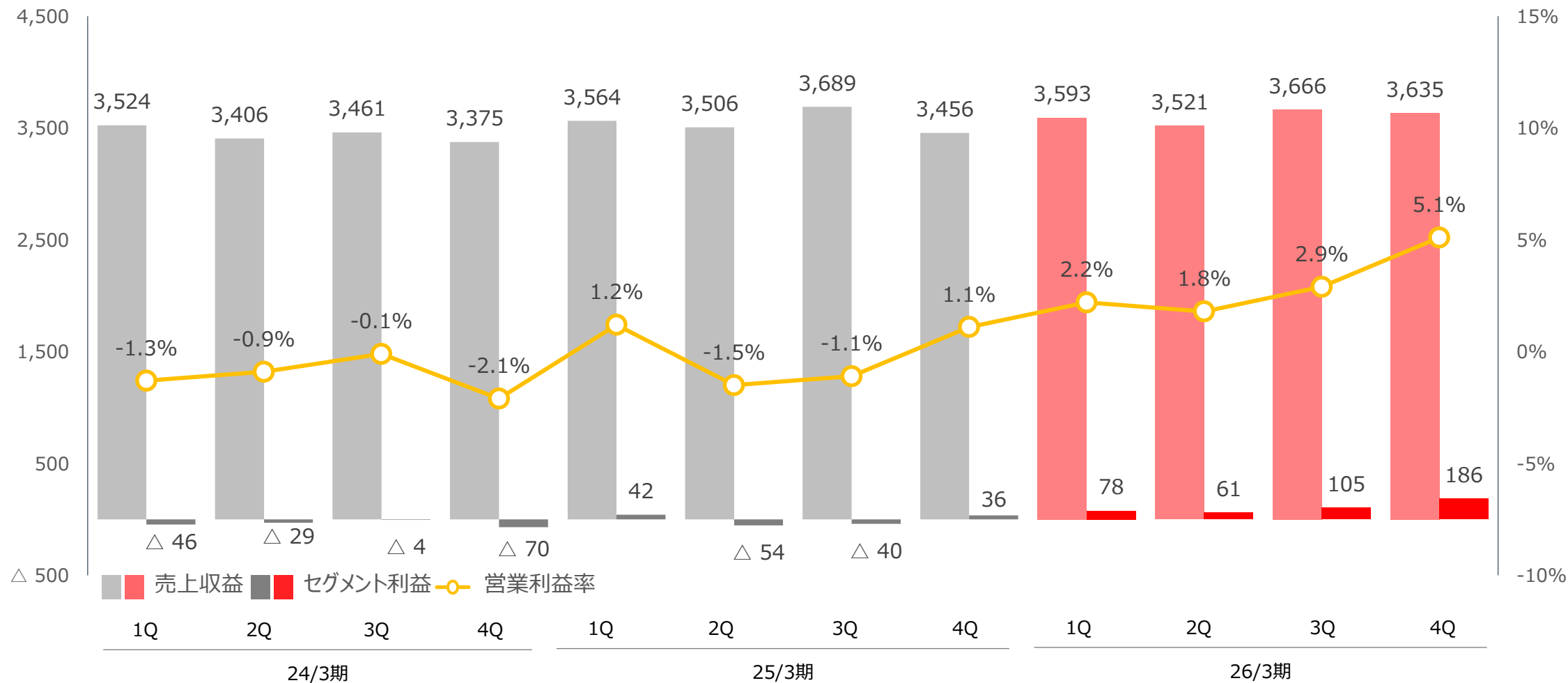
産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)



高機能エラストマー製品事業 四半期推移

(単位：百万円)



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

